

北九州憲法ネットニュース

発行 9条の会・北九州憲法ネット 2015年9月15日 第80号
 TEL592-5000 fax 571-4346
 803-0817 北九州市小倉北区田町13番21号田町ビル3F
 URL⇒<http://kitaq-kenpou.net/>

第9条

戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権の否認

日本国民は正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

第2回憲法連続講座・池上遊弁護士が講演 27名が参加、質疑・討論に熱気！

9条の会・北九州憲法ネット主催、今年2回目となる「憲法連続講座」が9月5日、市立生涯学習総合センターで開かれ、27名が参加し、有意義な学習会となりました。

講師は、北九州第一法律事務所所属の池上遊弁護士。若くて、歯切れの良い講演で、演題は「戦争法案を阻止するために」でした。現在の情勢にマッチしたテーマであり、参加者も熱心に聞き、講演後の質疑・討論の時間も熱気が記載された感想など

*戦前の国民総動員という風潮が、今また繰り返されている、そんな感じがしている。現代です。ひとり一人が意識をと、強く平和を願い、そのために今できることをしていくことの大切さを感じました。私たちは、知らないこと、知らされていないことがたくさんあると思います。こういう機会に知ることが大切だと思います。今日は参加してよかったと思いました。(女・60代)

*細部について、知り得ない事がわかり、本当に良かったと思います。他人事と思わず、多くの人がもっと、政治に関心を持ってほしいと願うばかりです。(女・70代)

あり、時間が足りないような状態となりました。

寄せられた感想文にも「細部について、知り得なかったことがわかり、本当に良かった。もっと多くの人が、政治に関心を持ってほしい」「戦争法案の具体的内容について、わかりやすく説明していただき、何としても廃案にしなければと思いを強くしました」など、大きく、廃案の運動を元気づける講演となりました。

*よく準備された、わかりやすい説明であった。(感謝) 質問者の中に、“時間泥棒”がいたように思う。(男・60代)

*戦争法制の具体的な内容について、わかりやすく説明していただき、何としても廃案にしなければと思いを強くしました。今日は、ありがとうございました。(女・60代)

*安保法制に対しての国会中継では、このような具体的、国民に徴用をかけていく仕組みになっていることを聞くことはなかったので、中身についてお話しいただいて、本当に良かった。他の人にも伝えて、反対の声を大きくしてゆきたいと思った。(女・50代)

4,000人が結集、安保法案廃棄9・6集会

9月6日の、「安保法案の廃棄を求める市民集会」は、小倉の勝山公園で開かれ、4000名の人々が結集し、小倉駅までパレードしました。

集会の前に、「中川五郎ライブ」があり、参加者も手拍子で歌に応え、盛り上がりました。司会は、第一法律の石井弁護士が行い、主催者として、福岡県弁護士会会長の斉藤芳郎さんが、安保法案は憲法違反、廃案までみんなで頑張り



ましようと挨拶しました。

次に、国会議員が3名登壇し、発言しました。

民主党の緒方林太郎衆議院議員は「安倍首相は、国会答弁では何を言っているかわからない。自分の席ではやじを飛ばし、うるさいかぎり。国民の世論の声の広がり、戦争法案を覆せる」と述べました。続く、日本共産党から、田村貴昭衆議院議員は「戦争法案は盾、横、斜め、どこから見ても憲法違反だ。劣化ウランや核兵器まで運べると答弁し、昔の軍部の独走に似てきた。法案の成立をストップさせよう」と話しました。最後に民主党からは吉川元衆議院議員が



「この2～3週間に、日本の将来がかかっている。国民の過半数が、反対する憲法違反の法律を通すことはまさにクーデターだ。」と述べていました。

最後に、5人の市民のスピーチがありました。九州大学3年生の学生は「戦争に行くのは若い

人、次の世代。政権の思惑は、我々が反対の声を止めた時にある。今からが本当の闘い。最後まであきらめずに闘いましょう」と訴えました。母親からは「こどもの将来が不安。子供は将来を選べない。大人が子の将来を決める。戦争は止めたい」。港湾労働者は、今までの全港湾の戦争反対の運動の取り組みの歴史をのべ、今度の戦争法案の反対への決意を述べました。教育労働者は「小学校では6年生になると憲法の3つの特徴を教え、中学校では立憲制度を教える。しかし、今は子供に何と云えばいいのか？子供を戦場に送らない、このことを肝に銘じ闘う」と決意を述べていました。

最後に、キリスト教の奥田牧師が登場し「聖書には“汝、殺すなかれ”とかいてあり、アメリカに追随し、殺し、殺されることは、絶対反対する」と話しました。

集会は、宣言案を採択し、パレードに移りました。参加人数が多いため、隊列を組み、会場から出ることにかかなりの時間を取りました。最後の隊列が出発する時、最初に出たパレードの先頭は、すでに紫川を渡っていました。小倉駅での流れ解散時は、小倉駅前2階デッキは人が溢れていました。本当に多くの市民の参加で成功しました。(野瀬記)

小倉南九条の会第4回総会開く 総会后懇親会 午後9時9分9秒に乾杯！

代表委員・事務局担当 有馬 和子

9月26日(土)14時より小倉南生涯学習センター

小倉南西部九条の会は、9月9日午後7時より山手会館で第4回総会を開催しました。名称を「小倉南九条の会」と改め、活動を再開します。

総会では、次のことを決めました。1. 名称の変更、2. 役員、3. 行事・活動計画。

活動計画として、(1)宣伝署名活動を月2回行う。これまで7月から守恒サンリブ前で3回実施(延べ40名参加)、国道10号線方面でも宣伝してほしいとの要望があり、9月14日(日)には、葛原サンリブまで実施(17時15分～45分)。(2)学習会。小倉南革新懇と合同で実施(年2回を目標)。



2F 特別室 講師里本麻衣弁護士 テーマ「安倍政権は日本をどのようにかえようとしているか」
 (3)戦後70年記念誌発行。会員全員に原稿依頼400字前後。(4)会費。2015年度500円納入促進と新規加入の呼びかけ。(5)役員は、

総会後の懇親会は、藤沢加代市会議員の司会で、大いに盛り上がりました。オープニングは、ギターリスト山田敏夫さんの「憲法9条の歌」そして辻光博北九大名誉教授の音頭で第1回の乾杯。鉢盛のお料理を食べながら懇談。その後、憲法前文と9条・99条を全員で朗読しました。世界に誇る日本の憲法を肌で感じたのではないのでしょうか。

今回の総会には、沼緑町の渡辺末子さんが地域の方と参加し、沼地域でも「9条の会の準備会が発足しました」と報告がありました。そしてお得意の歌、「あざみの歌」と「一本の鉛筆」を帆船の思いを込めて歌い上げました。又、高木弁護士も谷川俊太郎作詞の「死んだ男の残したものは」をギターの伴奏で歌い、みんな二人の歌に感動！あとはみんなで「沖縄をかえせ」など大合唱。9時9分まで時間もあるので、代表委員小川威亜弁護士、カメラマンの石田尚三さん、女性運動を続けてこられた中林和子さんが一言発言をしました。

石田さんは、「危険な戦場に行って写真を撮ることもあります。戦争の悲惨さは見た者、体験した者しかわからない怖さがあります。最近、戦争を知らない学生や若者・若い女性達がデモや集会に参加しているのを見て「奇跡」が起こったように感じる。これから何があっても若い人達にはあきらめず継続して闘うことを呼び掛けていく

代表委員26名 事務局11名 他会計・会計監査を決めました。

総会には、代表委員11名、事務局8名、会計監査2名、会員20名合計41名の参加でした。

ことが大切ではないか」と意見を述べました。

高瀬菜穂子県議には、生活相談の後駆けつけ、憲法違反の戦争法案を強行しようとしている安倍政権に怒りをこめた挨拶をしました。

さいごにいよいよ9条に乾杯！時間の前にみんなグラス片手に集まり、7-8-9-とカウントダウンしながら小川弁護士の音頭で「9条に乾杯」をして終了しました。

振り返れば、国勢南区に「9条の会」を作ろうと準備を始めたのは2005年12月、結成総会は2



006年2月26日です。来年は結成10周年を迎えます。

たくさんの方々に参加していただき憲法9条を楽しく学べる企画をと事務局で話し合っているところです。

安倍政権と与党の戦争法案強行採決の企てを許さない世論を作ろう！

与党は参院安保特別委員会で9月15日に中央公聴会の日程をいれました。早ければ16日か17日に戦争法案の強行採決をねらっています。憲法違反の戦争法案をどさくさ紛れに強行採決する企ては絶対に許せません。

いまこそ、行動をおこして、人びとの中に入り、戦争法案廃案の世論を全力で起こしましょう。憲法を踏みじめる安倍政権は即刻退陣です。

対話を！ デモを！ 集会を！ 津々浦々で巻き起こしましょう。

カンパありがとうございます。そして、お願い!

「9条の会・北九州憲法ネット」は会費をとらず、皆さんからのカンパのみで運営しています。カンパにご協力いただける方は下記の郵便振替口座までお願い致します。

振替番号：01700-8-115768 名 義：「九条の会・北九州憲法ネット」

カンパ7月 吉永一 小川由美 8月 三輪俊和 諸岡昭三郎 野瀬秀洋 原野武 吉本まさ江 後藤篤子 江口瑞枝 山田栄子 玉井史太郎 横井和江 山口千賀子 小沢和秋 木村知子 吉永一 古賀三千人 長田正孝 川原颯誠 竹中労 服部晴美 小泉孝 渡辺末子 中川紘子 増野ノリ子 古野和彦 平岡博 新地美智子 渡辺満子 安達恵美子 戸上省二 戸上栄子 塩塚茂嘉 9月 佐多道人 南嘉人 杉谷岩彌 渡辺和子 有馬和子 豊福直美 三崎英二 **メッセージ** ●大変な時です。ほんの少しですが、がんばって増額しました。暑いです。お身体ご自愛ください。7/27 U. O ●カンパ 8/3 H. N ●カンパです 8/4 A. G ●戦争法案を断固廃案に追い込みましょう 8/5 F. T ●私も猛暑の中で、毎週戦争法案ストップの駅頭宣伝に立っています。共にごがんばりましょう。8/6 K. O ●暑いですね。”暑さ寒さも彼岸まで”と言いますが、8月の闘いやらねば・・・と思います。いつもながら些少ですが送ります。8/10 M. K ●暑中お見舞い申し上げます。8/10 T. K ●自分の地域で九条の会を何とか発足させたい！ご指導よろしく 8/18 S. W ●カンパ 8/28 M. W ●激動の時代たゆまぬご活動ごころうさまで。小倉南西部九条の会は小倉南9条の会に改名し9月9日第4回総会を開き、活動をさいかいております。9/8 K. A ●カンパとして 9/10 A. M

700名が参加、23日の
「戦争法案許さない集会」

小倉駅で一斉に
ポスター掲げ、アピール、

カンパ額は
62,599円



「九条の会」メルマガ詳細版

2015年09月10日 第218号

編集後記～2015年8月30日は歴史的な日でした

国会前に12万人もの人びとが押し寄せました。実に60年安保闘争以来の出来事でした。人びとは老いも若きも、女も男も、戦争法案廃案、安倍政権退陣を叫びながら、国会前の車道を埋め尽くし、公園を埋め尽くし、霞ヶ関の官庁街から、日比谷公園地区にまで密集しました。この社会の未来を案じ、平和をつくり出そうと決意したさまざまな階層の人びとが行動しました。

同時に全国では1000カ所以上の場所で、人びとが行動しました。この運動は民主主義を体現し、憲法を体現した運動でもありました。

たたかいはつづきます。私たちはあきらめません。絶対に安倍政権には屈しません。(T)